小中一貫教育推進　城山学園

平成２８年１１月１１日
Ｎｏ　３０

学園コーディネーター通信

学園ＣＯ　水﨑浩克

めざす学園像：家庭や地域と協働し、３つのＪを身につけた子どもの育成に専念する学校

城山学園　小小交流（赤間小・赤間西小・吉武小）

～ともに過ごし、知り合い、楽しむことが大事です～

１０月２０日（木）、赤間小（１７８人）と赤間西小（７２人）の５年生が少年自然の家「玄海の家」で交流会を行いました。城山学園小中一貫教育組織の連携事業部会活動としてスケジュールを調整し、両校の１日目と２日目を交流日として重ね約半日グループで活動しました。

紹介式、グループ編成、昼食、スコアオリエンテーリングを通して、子どもたちは知り合いになり、友だちになり中学校生活へのスロープがさらにゆるやかになったことと思います。

また、１０月１９日と２４日には、吉武小の６年生（１６人）が赤間小と赤間西小を訪問し交流活動を行いました。一緒に授業を受け、給食、昼休み、清掃をともにするなかで規模の違い（児童数）を乗り越える自信もわいてくるのではないでしょうか。

これらの活動が子どもたちの「３つのＪ」につながる学び合い、規範意識、自他の尊重を高める一つのステップになると思います。

長く続く小小交流が、９年間の中期（５～７年）の児童生徒の成長には大きな役割を果たしています。これからも継続できるように保護者・地域の方々にも温かく見守っていただきたいと思います。

まず全員が体育館に勢ぞろい

両校混成グループで昼食です

小・中学生も釣川クリーン作戦に参加　郷土を大事に！

宗像市の大事な水源であり、市民生活に潤いをもたらす釣川。その水源は、吉留の倉久山々麓の平山池付近にあり、猿田川、名残川、冨地原川、貴船川など多くの支流があります。そして、本流は、城山学園校区をほぼ東西に流れており、まさしく郷土の川であると言えます。

裏面へ

１０月３０日（日）晴れ。赤間コミセン、赤間西コミセンに集合した城山学園の児童生徒は地域の方々と一緒に環境保全活動（ゴミ拾い）に取り組みました。場所は、釣川本流、貴船川、赤間駅南北周辺。子どもたちは積極的に競うようにゴミを見つけ収集袋に入れていきます。めだつゴミは、紙・ビニル類、たばこの吸い殻、缶・ペットボトル。参加者は私たちの命の水を運ぶ釣川と支流そして川を囲む生活環境を守り続けることが大切であると再認識したことと思います。このことを一人でも多くの人に伝えていくことが重要です。子どもたちはできると思います。

【出発前の挨拶と説明を聞きます】

【小さなゴミも見逃しません】

【分別作業もしました】